

19年ぶりの日本人横綱になった稀勢の里がブームに火を付けた。大阪場所の一月前前に売り出した前売券が二時間で15日間みんな完売になった。これは未曾有だ。

メディアが空前のブームと騒ぐ中で私は別のことを思い出した。

ふるりの土俵の星「神風」(赤沢正一)は昭和12年から25年まで輝いた。関脇で引退した後NHKに見込まれラジオ解説者に。それがテレビになって大ブームになった。その風貌と語り口、まわりは解説の横綱とまで言った。「端的な讃岐ことばに惚れたのだ」とNHKの担当記者から聞いたことがある。

何度かのインタビューで赤沢さんに聞いたのだけど、旧制大川中(現三本松高)で柔道3段選手のととき相撲部屋にスカウトされたそうだ。「柔道日本一になりたかったのに」心ならずも横綱を夢見るはめになった」と。

人生って奇だ。藤猪省太(昭和25年)という親友がいる。日本柔道界の至宝である。世界選手権(中量級)4連覇、中止もあって12年間、世界に君臨した。女子では田村亮子の5連覇があるが、男子では未だ破られていない。

彼は大内町の生まれ。中学3年で柔道で県下に敵なし。メッカ天理(奈良)に招かれ高校、大学を制し世界の頂点をも極めた。だが彼は幼いころから「神風」に憧れ横綱を夢にみていた。「ぼくも、本意ながら、柔道の道に入ったんです」。人生って不可思議だ。因縁とか宿命という言葉で片づけられない神秘性が人の世にはあるものだ。

ジャーナリスト 円立院翔

## 文学

### 東かがわ柳壇「雑詠」

#### 成重放任 選

ハッピーに生きよう笑いジワもふえ  
長短を繋ぎつないで丸く住む  
旅行する暇が出来たら体萎え  
遠く住む友へ故郷の花便り  
古希すぎし日々が短かく感じられ  
春風に背中を押されウォーキング  
老令に踏みだす足に異常なし  
夢で逢う亡母はいつでも笑ってる  
じわじわと小皺大じわ深くなる  
商人に操られチョコ世を駆ける  
凛と立つあなた私の憧れです  
孫に似たおすべらかしの雛人形  
雛壇がひとときわさえる柳餅  
居てもよし居らぬもよしのだんな様  
寒空に紅梅の花春を呼ぶ  
ときどきの舞台の上は五分なり  
母の味話して心子に伝え  
年並に元氣と言えど薬喰い  
少しづつ花を咲かせた菟寿の春  
揚雲雀こままでおいで立泳ぎ  
数独で脳を鍛える目は霞む  
師の年賀見つめ達筆惚れ直し

### 短歌

#### 松家満子 選

清々と笑顔をくれし人ありて  
今日一日の心穏やか  
春休み桜三分に咲く夜は  
若き仲間と交わす般若湯

森田 武雄

【次回締切日】 5月24日(水) 7月号に掲載  
※投稿には「短歌」「川柳(必ず2句)」「俳句」の別を明記し、作品にふりがなと簡単な解説を添え書きしてIPの宛先まで

### 俳句「雑詠」

#### 桑島正樹 選

すぎ去りし若きあの頃夢ありて  
叶わぬままに余生に入る  
さまざまなバステルカラーのランドセル  
街が朝から活気づいてる  
坂道を力いっぱいペダル踏み  
自ら励まし寺に向へり  
しとせを言葉にせずとも分かり合う  
セピア色した婚禮写真  
万物の芽吹き今の世まぶしけり  
私も負けじとしなやかに生く  
訓練に堪えて飛行士宇宙行  
鳥も驚く人間の知恵  
助手席より見る老人の自転車の  
危うきさまよわれも同じか  
天迄も吾物なりと高だか  
ビル建ち並ぶ街に近づく  
法要をいとむと迎えられ施設出る  
友の背に嬉しき春の日こぼるる  
思うなく頭の体操するでなし  
俄かに手習う短歌とパソコン  
コミセンで月に一度の「くらげ食堂」  
工夫した献立をお手伝い  
草間さんのユニークな作品の水玉に  
元氣もらうがどこから沸くの

菅笠に決意を秘めて老遍路  
土いじり指先に立つ春の音  
しだれ梅風に吹かれて土を擦る  
寒雷に眠れぬ夜のしじまかな  
虎落笛吹き残されし朝の月  
住み慣れて過疎なる畑を耕せる  
鬼やらひ自作の面に泣く児かな  
初場所の千秋楽のもらい泣き  
朱鷺色に染めて立春暮れ泥む  
椿落つきのふの花のその上に  
柚子の風呂呂孫あやす如遊びけり  
春を待つ心教へる師のありて  
剪定を終へ寒風の真つ直ぐに  
水鳥の川面のキャンパス弧を描く  
白き紙野の草並べはこべなど  
菜の花の香に誘われて蝶が舞う  
訝りて箸で転がす海鼠かな  
川風や次第に雪の夜となりぬ  
山峡の軽ろき水音梅灰か  
路地裏の空の狭さよ日脚伸ぶ  
新築の槌音高し春隣  
千代紙の手作り独楽をまわす老  
湖上なる風呂へ行き交う襦袢かな  
眠らない鉄路の明かり初日影  
雪蛭絵解きの寺の地獄図  
寒紅に今日の力をもらいけり  
強東風や老の外出引き止める  
車椅子主治医が押しして桜みる  
お正月四代揃い至福かな  
人まばら三日すぎたる初詣  
手袋はや地産地消の盛衰裡  
笹鳴きや日陰をおける寺の門  
霜の朝よりそう影や夫婦らし  
花好きの我娘に見せし春景色  
うぐいすとお手手つないでランドセル

田中千壽子  
富田 孝子  
中川 千代  
桑島ヒサエ  
永峰 紀子  
古川 恵子  
下地 静江  
中嶋美喜榮  
吉野さくら  
永峰 伸子  
柿谷 幸子  
佐藤かやみ  
大久保透水  
宮脇 敏  
桑島 充恵  
三谷 泰子  
湊 修司  
林 ひじり  
浜野 加代  
高嶋 桂子  
橋本 時子  
松本 環  
祖父江寛美  
瑞田 笙子  
鍋嶋 零子  
十川百合子  
坂本 麗子  
松下タツ子  
松下富美子  
桑島 博子  
市場 泰輔  
伊勢八重子  
馬木富士子  
稲井 峯子  
渡田ゆかり  
片岡 俊子  
梁木 敏江  
桑島 正樹